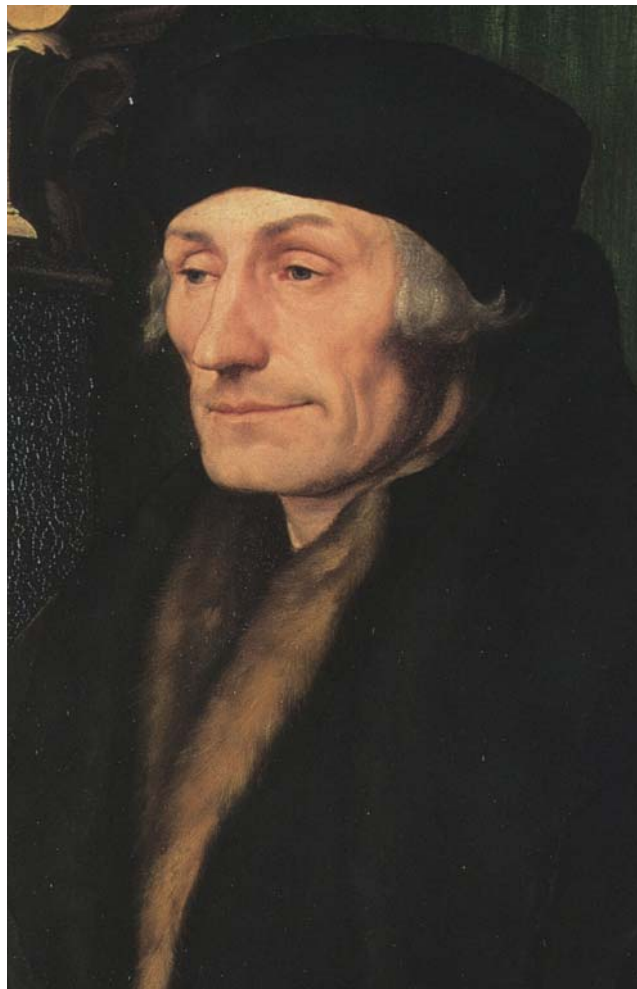


宗教改革再考



クラナハ画「ルター」1528年



ホルバイン画「エラスムス」1523年

キリスト教人間学の視点から

宗教改革は今から五〇〇年前にルターの「九五箇条の提題」によって起こったが、同時にエラスムスの『校訂新約聖書』やカルヴァンの『キリスト教綱要』も重要な役割を演じてきた。同時代に生きた三人の改革者たちは共通の問題意識をもち、共通の人間観にもとづいてその思想と行動を創造し、絶大な影響をわたしたちに残した。こういう思想の生きた力はどこから起こってくるのか。わたしはそれを従来の神学的視点よりも、キリスト教人間学の視点から再考してみたい。

平成29年(2017年)

7月29日 土 13:30~15:30

東北学院大学土樋キャンパス
ホーイ記念館ホール

参加無料

申込不要。直接会場にお越しください。

駐車場がありませんのでお車でのご来場はご遠慮ください。

講師

聖学院大学名誉教授

かね こ はる お

金子 晴勇 氏

略歴

1932年静岡県出身。1962年京都大学大学院博士課程修了。立教大学助教授、岡山大学教授、75年「ルターの人間学」で京大文学博士、76年同書で日本学士院賞受賞。岡山大学名誉教授。静岡大学を経て、聖学院大学総合研究所名誉教授。

著書

「ルターの人間学」 創文社 1975年
「宗教改革の精神 ルターとエラスムスとの対決」 1977年(中公新書)のち講談社学術文庫
「アウグスティヌスの人間学」 創文社 1982年
「近代自由思想の源流 16世紀自由意志学説の研究」 創文社 1987年
「エラスムスとルター 一六世紀宗教改革の二つの道」 聖学院大学出版会 2002年
など多数

主催／東北学院大学 キリスト教文化研究所 共催／私立大学研究ブランディング事業

問い合わせ先／東北学院大学 研究機関事務課 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1 TEL 022-264-6401